

# 「Cool Stay 釧路」の Coolなおもちゃライブラリー

北海道釧路市

釧路市おもちゃライブラリー

## ノーマライゼーションと共に育ったライブラリー

北海道の他の図書館と同様、婦人（現在は女性）団体連絡協議会が中心となって 40 年以上前となる 1983（S58）年 3 月に道内 9 番目の図書館として開設された本館ですが、行政や社協、地域のみなさまに愛されて現在に至っています。

1000 点以上のおもちゃと 600 冊以上の児童図書が、子どもたちへの教育の仕事を終えた旧東栄小学校の 1 階の広い一室にて、市の教育委員会のみなさまのご支援を受けながら、常設型のおもちゃ図書館として、所狭しと子どもたちの来館を心待ちにしています。

1981（S56）年は国際障害者年（IYDP）でした。「完全参加と平等」のテーマのもと、ノーマライゼーション理念が福祉の基本として広げられていました。そのなかで釧路市社会福祉協議会が中心となり、釧路市の代表的なお祭り「港まつり」での歩行者天国にて「釧路市ふれあい広場」が始まりました。1985（S60）年 8 月、その全市的な福祉イベントに初参加した私たちは、炎天下の中、道行く親子に野外出張おもちゃライブラリーとして楽しんでいただきました。楽しんだのは担い手である私たちも一緒。その感動は釧路市観光国際交流センターの屋内に移った現在の「釧路市ふれあい広場」に引き継がれています。

## ごちゃまぜだから楽しい

すべてのお子さま、保護者などに楽しんでいただく場として開いていますので、ごちゃまぜだからこそそのバリエーションのあるライブラリーとなっています。いつもは学齢前、幼稚園通園前の子どもたちが多いのですが、夏休み、冬休みにはそのおにいちゃん、おねえちゃんたちもたくさん参加。にぎやかになります。発達に不安のある子どもたちもたくさん遊びに来ますよ。

また、市社協・ボランティアセンターが主催する、「夏のボランティア・職業体験」にも積極的にかかわります。毎年たくさんの中高校生が一日ボランティアとしてやって来ます。後日、その感想文を読ませていただくと感動の涙なみだ、なのです。その中高生のその後が大変楽しみです。

## 毎回の集団遊びのバリエーション

運営ボランティアには経験豊富な保育士メンバーもいて、昼食前の 15 分間での手遊び歌遊びなどの

集団遊びにおいては、そのプロフェッショナルティーがいかに発揮され、大盛り上がり。手作りの遊び道具も本格的です。この時間、毎回市の図書館からお借りしてくる大型絵本の読み聞かせや大型紙芝居も行い、子どもたちのまんまるオメメがさらにまんまるに～。



図書のプレゼント、  
ありがとう

## イベントがこりゃまた楽しい

季節の行事もマメに開催。その中でも一年の最大のイベントが「クリスマス会」。外国人ボランティアスタッフが参加しているときのそのサンタ姿はもうそのもの！本館でのお楽しみに加え、近くの児童発達支援センターの 60 名を超える子どもたちにもプレゼントを携え訪問しますが、その盛り上がりは

格別です。ボランティアの出し物も奮っています。「おおきなかぶ」をもじって、劇「よ～いしょ よいしょ どっこいしょ」。観ている子どもたちも加わって、紐を引っ張って出てきたのは「かぶ」ならぬサンタさん！これがウケないわけはありません。

### 運営の課題をどう乗り越えたか

本館のこれまでの運営を振り返ると、「担い手」と「場の確保」にその課題が集積されて来た感があります。

開設当初は釧根地域婦人会館の一室にて障がい児へのおもちゃの貸し出しに特化し、少人数での対応で済んでおりました。その後、開設 16 年を経て小学校の余裕教室に移転でき、一気に広いスペースをいただいたときは関係者一同、歓喜の輪の中にいたのですが、そこに遊びに来られる子どもたちの対応のため、多くの担い手が必要となりました。運営主体が女性団体連絡協議会ですので、当時の加盟サークルから担当制によって担い手を出していただき運営しておりましたが、入れ代わり立ち代わりボランティアが交代するので、どうしてもコミュニケーションが行き届かなくなります。そこで、開設 26 年の 2009（H21）年に家庭生活カウンセラークラブのメンバーが中心となって、コアな運営スタッフを「サークルあそぼ」として組織して、経験の集積を

図って来たのです。

そして 40 周年を迎えた、2023（R5）年には、この「サークルあそぼ」メンバーの高齢化と罹患により解散を余儀なくされ、その後を担っていただけるボランティアをあちこち探し回る中で、開設当初より社協・共募従事者として活動を見守り続けていた現在のボランティアサークル代表が呼応し、社協ボランティアセンターの協力も得て、数名のボランティアが新規にかかわっていただくこととなり、なんとか存続の危機を乗り越えて来たところでした。

このタイミングで水曜日の開館を火曜日に変更しました。長年慣れ親しんでいた曜日を变えることに大きな不安を抱えながらの年度最初の 4 月 4 日でしたが、なんと 13 人の子どもたちが参加。本当に嬉しかったですね。何より強力な口（くち）コミネットワークに助けられたようです。子どもたちの健やかな育ちを願う、親御さんたちのつながり、すごいです。

また、2024（R6）年 9 月からは新たな釧路市家庭生活カウンセラークラブのメンバーが第 4 火曜日に数名お出でいただけることとなり、心強い限りです。これからも、多くの方々にこの楽しくも充実した活動を知っていただき、ボランティア参加を呼びかけ続けていきたいと考えています。



#### ● 代表より一言

子どもたちの健やかな成長の場にかかわらせていただいて、本当に感謝です。支援しようとして支援されている感、満載。地域共生社会の実現はここからですね！ありがたくも現在、北海道における 3 名のうちの一人として「世話人」を仰せつかっています。道内加盟館にとどまらず、同様な事業を展開しているお仲間たちともネットワークをつむぎ、子どもたちの笑顔を広げるアクション、「こどもまんなかアクション」を全国のお仲間と共に増殖して行きたいですね。（小野信一）

**場所** 北海道釧路市弥生 2-1-33 旧東栄小学校 1 階

**日時** 毎週火曜日（祝日、年末年始、全校臨時休校の日は休館）10:00 ～ 14:00

※希望により土曜日開館にも対応しています。

※火曜日以外の平日には登録サークルにご利用いただいております。



Facebook



Instagram